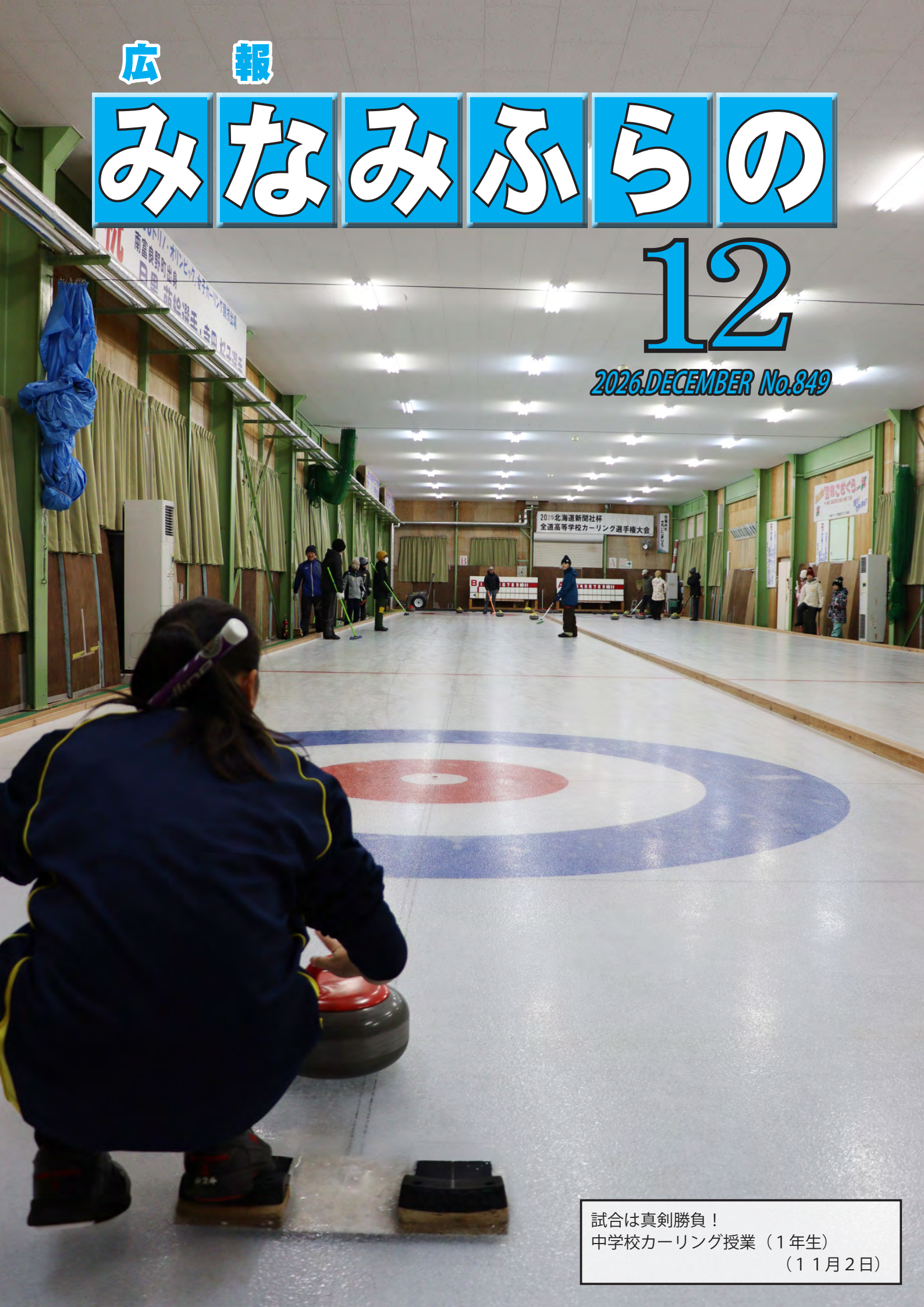
広　報

みなみふらの

12

2026.DECEMBER No.849



試合は真剣勝負！
中学校カーリング授業（１年生）
（１１月２日）

永年にわたる功績を讃えて
令和8年度 功労者表彰式



令和8年度功労者表彰式が11月3日、保健福祉センターみなくるで挙行されました。

この表彰は、これまで町の自治・経済・文化・社会などの各般にわたり町政振興に寄与され、多くの人々の模範と認められる行為があった方々と、満80歳以上で50年以上本町に居住されている永住功労者を表彰し、その功績を讃えるものです。

式では、物故者に対し出席者全員で黙とうを捧げ、町民憲章を朗読した後、功労者の方々に表彰状が授与されました。髙橋町長は、受賞された功労者3名の方と、永住功労者18名の皆様に深甚なる敬意と感謝の意を表しました。

また、受賞者を代表して大友忠雄さんが謝辞を述べ、これまで支えてくれた地域の皆さんへの感謝とともに、今後も町の発展に尽力していく決意を語りました。

自治功労

☆自治の振興発展に尽くされた方

柴谷一雄さん（金山）

南富良野町スポーツ推進委員として平成9年から29年間の永きにわたり在職し、平成18年からは副会長の要職を務め、地域住民の体力向上とスポーツ振興に努め、住民の健康づくりと地域コミュニティの活性化を図り、地方自治の振興に尽力されました。


柴谷　一雄さん

産業経済功労

☆産業経済の振興発展に尽くされた方

森井正則さん（幾寅）

幾寅森林愛護組合役員として平成17年から21年間の永きにわたり在職し、平成25年から組合長の要職を務められ、緑豊かな郷土の山々を守り抜く信念をもって山火事予防思想の普及宣伝を行うなど、林野火災の予防活動に尽力されました。


森井　正則さん

社会福祉功労

☆社会福祉の向上に尽くされた方

大友　忠雄　さん（幾寅）

交通安全協会理事として平成11年から27年間の永きにわたり在職し、令和7年から会長の要職を務められ、卓越した指導力をもって組織を牽引するとともに、交通安全意識の普及高揚と交通死亡事故ゼロの達成に大きく貢献し、各種交通安全運動の推進に尽力されました。


大友　忠雄さん

永住功労（18名）

☆満80歳以上で本町に50年以上在住し、今日の郷土発展に尽くされた方

（基準日～本年4月1日）

【北落合地区】
久保田　トモ子　さん
大町　チヱ子　さん

【落合地区】
大町　武　さん
大町　チヱ子　さん

【幾寅地区】
伊賀　正一　さん
伊藤　貞子　さん
梅林　博　さん
大西　好子　さん
小野　キヨ子　さん
工藤　節子　さん
今野　元美　さん

齋藤　昭則　さん
須甲　政則　さん
髙橋　啓子　さん
高橋　二三雄　さん
中渡　節子　さん
吉田　昭子　さん

【金山地区】
金子　忠　さん

【下金山地区】
春谷　美禰子　さん


高橋　二三雄さん


今野　元美さん

金山ダム完成 60 周年記念

金山ダムに巨大なアートを

～金山ダムリバースグラフィティプロジェクト～

このプロジェクトは、こうして始まりました

昭和 42（1967）年に完成した金山ダムは、2027 年に 60 年を迎えます。町が「村」から「町」になったのも同じ昭和 42 年で、町はダムとともに歩んできました。

この節目にあたり、国土交通省 北海道開発局 札幌開発建設部より、ケルヒャー社による世界遺産などの歴史的建造物の清掃を世界中で行う「文化貢献活動」の一つとしてのダムアート事業の提案を受け、北海道開発局・ケルヒャー・町による共創事業として取り組むことになりました。



栃木県足利市の松田川ダムに今年 4 月に描かれた作品
「侍の帰還」
縦 56m・横 228m の壁面に 4 人の侍が浮かぶ

ダムアートの描き方「リバース・グラフィティ」

ダムの壁面にたまった汚れやコケを、高圧洗浄機の水だけで落とし、洗った部分と残した部分の濃淡で絵を描く技法を「リバース・グラフィティ」といいます。絵の具は使いません。

ドイツ人アーティストのクラウス・ダオヴェンさんが 1997 年に開発しました。汚れは少しずつ戻るため、絵は 2 年ほどで薄れていきます。

クラウス・ダオヴェンの思い

消えていくはかなさ：汚れがまた付いて、絵は少しずつ消えていきます。花がいつか散るようなその儚さが日本の考え方に合うと、2008 年の日本での初制作で感じたそうです。

その場所に合う絵を：テーマは、ダムのある環境や周りの状況を大切に決めます。真っ白な紙ではなく、ダムの壁に何を描くかを考えることが大事だと話しました。



ロープ 1 本で壁面につり下がる作業員



ノズルから水を当てて汚れを落とす

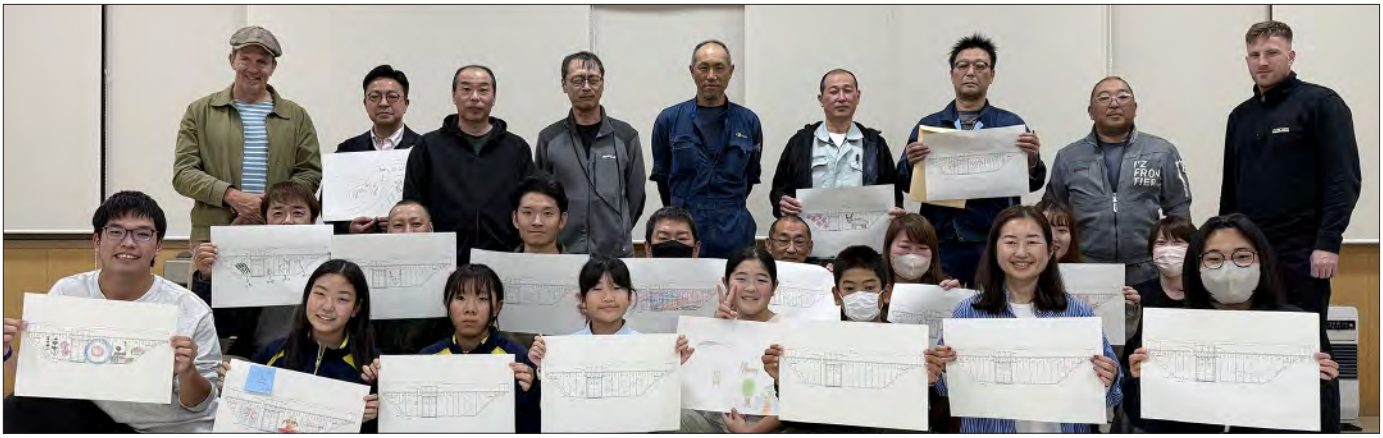
1 測量と目印づけ
壁面を正確に測り、その結果をもとに、輪郭に沿って多数の点を目印として打ちます。

2 輪郭の縁取り
図面と見比べながら、ノズルで絵の輪郭をなぞって下絵をつくります。

3 洗浄
輪郭にそって汚れを落とし、明暗で絵を浮かび上がらせます。一度落とすと元には戻せません。

このアートのねらい　金山ダムは、洪水から町を守り、田畑の水や水道、電気を支えてきたダムです。その姿をアートで彩って町民の記憶に残すとともに、近隣の市町村を訪れる人が、南富良野にも足を運びたくなるきっかけをつくります。

地域住民の意見を取り入れての、ケルヒャー社によるダムアート制作は日本初の取り組み！！
子どもから大人まで 24 人が参加。なんぷの魅力を話し合い、ダムに描く絵を考えました。



ワークショップの参加者と、クラウス・ダオヴェン氏（左上）、ケルヒャー社ニック・ハイデン氏（右上）

10 月 20 日、金山ダム リバースグラフィティプロジェクトの町民アイデアワークショップが、情報プラザで開かれました。髙橋 秀樹町長と、北海道開発局札幌開発建設部の赤川 裕志部長があいさつし、金山ダム管理支所の金子 裕幸支所長がダムの概要を説明しました。

続いて登壇したアーティストのクラウス・ダオヴェンさんは、モチーフを決めるときはダムの環境や周りの状況を大切にすると話し、地元の人の意見を聞くのは初めての経験だと語りました。

ワークショップは 2 部構成。前半はグループで「南富良野といえば何？」「暮らしていて大好きと感じる瞬間は？」「知らない人におすすめするなら何？」を話し合い、後半は一人ひとりが南富良野の魅力を絵に描きました。

髙橋町長は、桜まつりでにぎわう場所にアートが加われば、多くの人が訪れるきっかけになると期待を話しました。

どんな絵が描かれたの？

町民のみなさんが描いたのは、イトウ（淡水魚）、シカ、オオワシ、町のイメージキャラクター「南ちゃん」、ダムの下の公園で見られる桜、カーリングなど。ほかにも、南富良野の魅力がたくさん描かれました。



ダム壁面の図面を見せながら話すダオヴェンさん

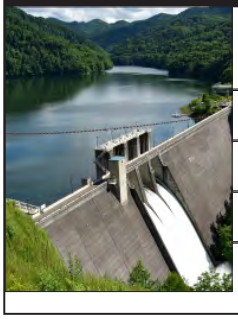


グループで「南富良野の魅力」を話し合う



一人ひとりが魅力を絵に描いた

金山ダムのデータ



形式	中空重力式コンクリートダム（北海道で唯一）
完成	昭和 42（1967）年
大きさ	堤高 57.3m ／堤頂長 288.5m
目的	洪水調節・農業用水・水道用水・発電
認定	令和 2 年度 土木学会選奨土木遺産

これからの予定

2026 年 10 月 20 日
町民アイデアワークショップ（開催済み）

描く絵はこれから決まります。ワークショップで出た意見は、ダオヴェンさんがデザインを考える際の参考にします。

2027 年春ごろ
ダムアートの制作（予定）

除雪作業に町民の皆さんのご協力をお願いします

「町道除雪路線」

●問い合わせ先●　建設課土木係　☎52 - 2179

この冬の除雪計画ができましたので、お知らせします。

町道における冬期交通網の確保については、地域のご要望に応えるよう、今年度は主要路線をはじめ、他の路線についても常時除雪を行う計画でありますが、除雪作業は主要路線から作業を進めていきますので、他路線については、積雪の状況により、早急な路線確保ができない場合があります。また、事故防止のため、除雪作業は視界不良や吹雪時などには行いませんので、ご了承願います。

○各地区担当業者

地区名	担　当　業　者
北落合	きたおちあい除雪隊
落　合	（株）落合Ｐ＆Ｆ
幾　寅	南富サポート（有）
東鹿越	（株）吉　　岡
金　山	ＫＯＮ産業（有）
下金山	

常時除雪路線
国　　道
道　　道

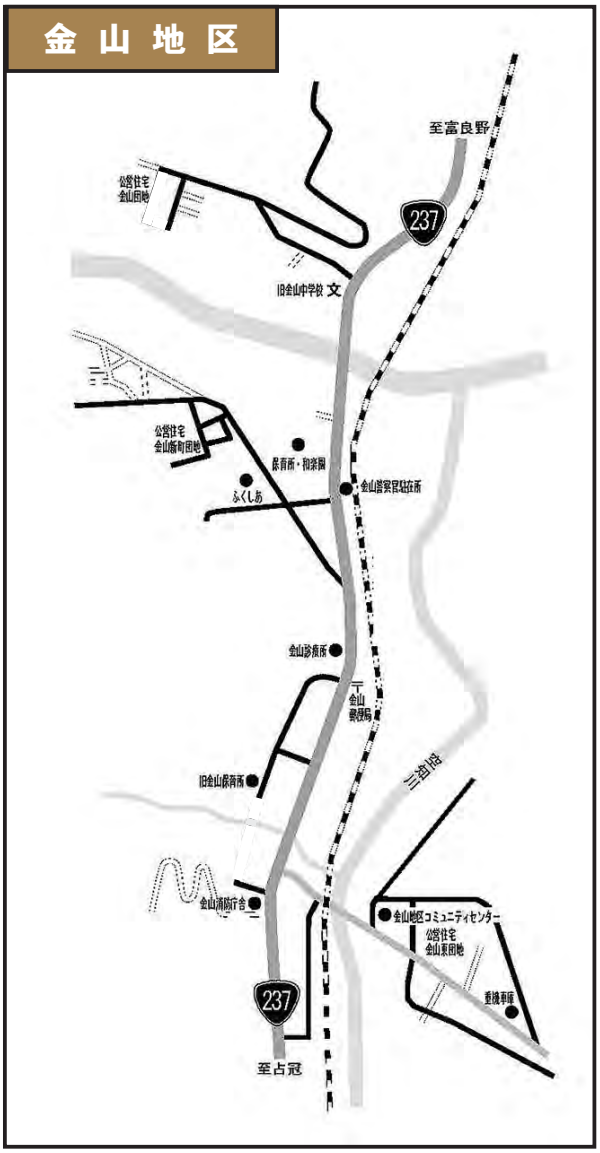
除雪作業の際には、車の路上駐車や物件の放置などが作業の支障になりますので、作業が円滑に行えるよう皆さんのご協力をお願いいたします。

◎路上駐車は絶対にやめましょう。
◎道路には物を置かないようにしましょう。
◎道路脇での遊びは危険ですので絶対にやめましょう。
◎排雪作業の際には誘導員の指示に従うようお願いします。
◎道路に面した屋根には雪止めを設置しましょう。
◎敷地内の雪は敷地内で処理するようにしましょう。

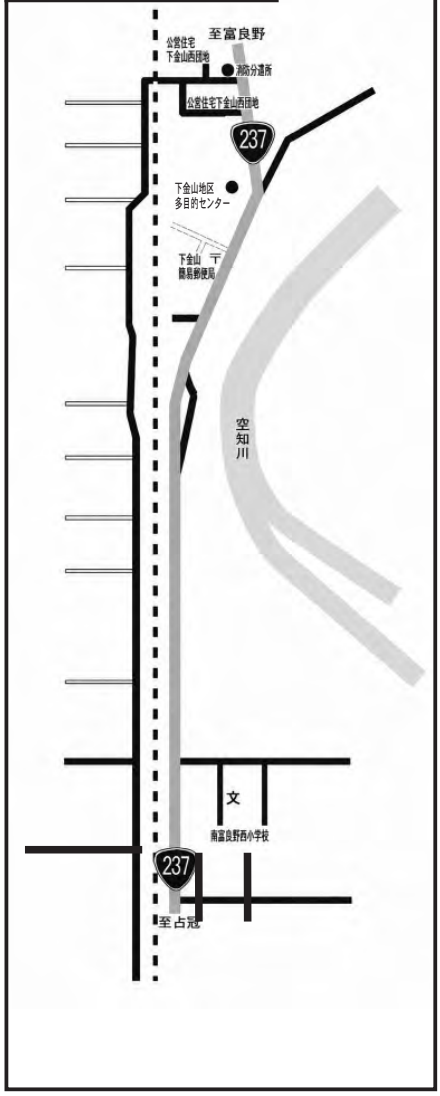
全　町　図



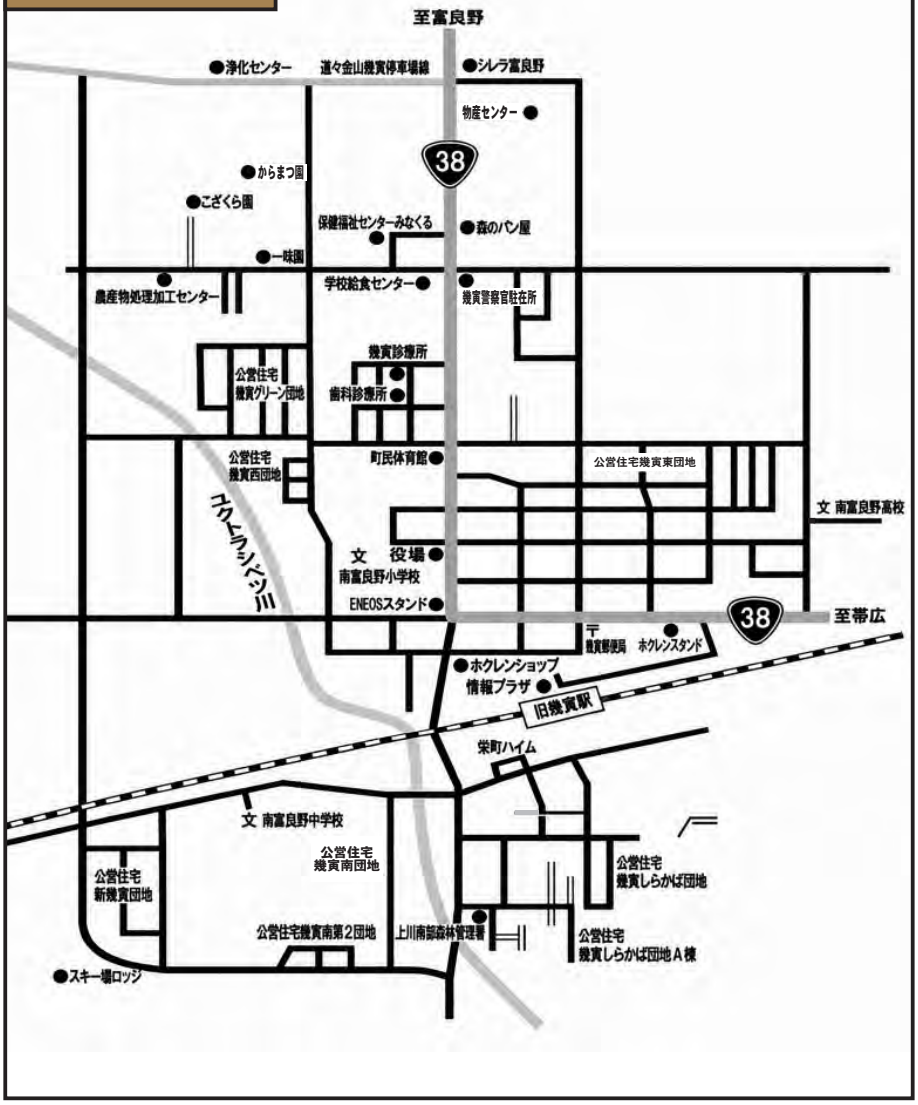
金　山　地　区



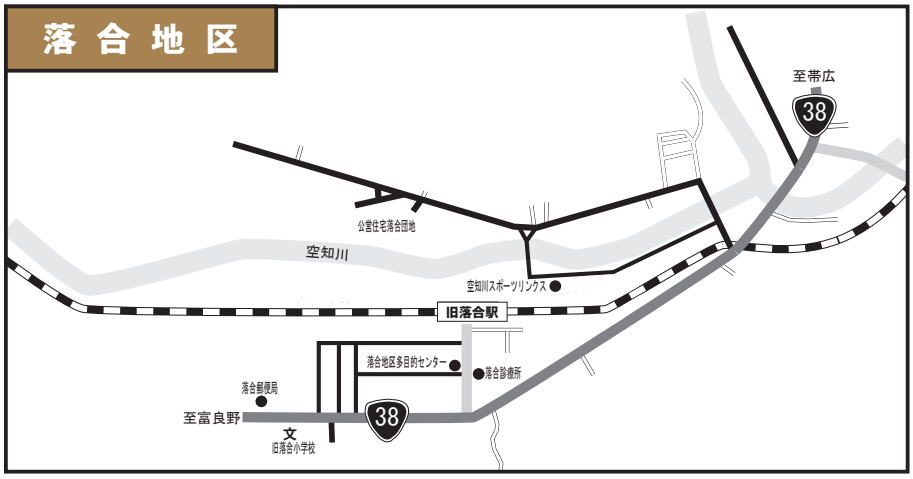
下金山地区



幾寅地区



落合地区





路上駐車は やめましょう！

自分の道を切り拓く勇気を学ぶ
中学校で全校道徳の授業を開催

10月21日、「自分の道は自分で切り拓く～1歩踏み出す勇気」というテーマで、南富良野中学校で全校生徒47人を対象に、元女子野球日本代表で栗山高校女子野球部監督の金 由起子（こんゆきこ）さんを講師に迎え、全校道徳の授業が行われました。



金さんは、褒められたことをきっかけに野球を始めたものの、女子という理由で続けられなかった経験や、大学受験の失敗を経て女子野球に出会い、日本代表として世界一を目指した歩みを紹介しました。試合に出られない悔しさやプレッシャーを乗り越えた経験から、失敗を恐れず挑戦すること、挨拶や返事など小さな行動を大切にすること、周囲の支えに感謝することを伝えました。



講演後、生徒らはグループに分かれて意見を交換。「これまで避けてきたことにも挑戦したい」「身近なことから心がけたい」など、学んだことを発表しました。金さんは最後に、一人で悩まず人に相談することも勇気の一つだと呼びかけました。

北海道の歴史と地域の未来を考える
映画「大地の侍」上映会＆セミナーが開催

10月31日、保健福祉センターみなくる大ホールで、一般社団法人HAL財団と南富良野町の主催による映画「大地の侍」上映会＆セミナーが開催されました。



この上映会は、HAL財団が2021年から、道内各地で進める巡回プロジェクトの一環で行われ、北海道開拓の歴史に触れ、農業への理解と共感を広げるとともに、地域の歴史や文化、未来について考えることを目的に開催されました。

「大地の侍」は、本庄陸男の小説「石狩川」を原作とする1956年公開の映画です。



HAL財団理事長 磯田　憲一さん

映画では、明治維新後、北海道へ移り住んだ武士たちとその家族が、農民として生きる道を選び、石狩川流域で幾多の困難に向き合いながら開拓に取り組む姿を描いています。

当日は、HAL財団理事長の磯田憲一さんが講師となり、講演と映画上映、意見交換を行いました。先人たちの歩みをたどりながら、今の暮らしを支える農業の大切さや、これからの地域づくりについて考える機会となりました。

南富良野町公式ＬＩＮＥで各種情報を配信しています!!

南富良野町では、公式ＬＩＮＥを通じて町民の皆さまに向けた情報発信を行っています。

「ごみ分別検索」機能では、家庭で出るごみの種類ごとに「燃えるごみ」、「燃えないごみ」などの分別方法を簡単に調べることができ、環境への配慮と正しいごみ出しをサポートします。

また、ホクレンショップ南ふらの店の売り出し日にあわせてチラシを配信しており、お買い得情報をタイムリーに受け取ることが可能です。紙のチラシを見逃してしまう心配もなく、特価品やイベント情報なども配信されるため、買い物の計画に役立ちます。

さらに、公式ＬＩＮＥではバスの時刻表や町のＨＰの確認もできるほか、広報紙のカラー版をスマートフォンで閲覧することも可能です。紙面よりも見やすく、いつでもどこでも町の情報をチェックできます。

これらの機能は、暮らしに寄り添った情報提供を目的としており、今後も各種案内など、さまざまな情報が配信される予定です。

公式ＬＩＮＥの登録方法やスマートフォンの操作でお困りの方は、企画課窓口またはお電話にて支援を行っていますので、お気軽にご連絡ください。

▼問い合わせ先
企画課広報統計係
☎52-2115

▶お友だち登録はこちらから



南富良野町公式アカウントの登録をお願いします

南富良野町公式アカウントの登録をお願いします。Instagram、Facebook、Ｘ（旧Twitter）を活用して、南富良野町の魅力や最新情報をお届けしています。

Instagram、Facebook、Ｘでは、町外の方々に向けた南富良野町の素敵な情報を共有しています。ぜひご登録ください。

Instagram　facebook　X

このコーナーでは、地域や学校で行われるイベント行事などを紹介します。皆さんの身近で行われている楽しい催しなどありましたら、企画課広報統計係（☎52-2115）（FAX 52-2922）までお知らせください。

カメラレポート
CAMERA REPORT

西小学校で「はくちょうもち」の脱穀体験

（10月13日）

南富良野西小学校で、児童たちが春に田植えし、秋に刈り取ったもち米「はくちょうもち」の脱穀を行いました。

児童たちは先生や保護者とともに、脱穀機やざるを使って稲穂からもみを一粒一粒取り外しました。細かな作業にみんなで根気よく取り組み、普段食べているお米ができるまでの手間や大変さを学びました。

田植えから稲刈り、脱穀まで自分たちで取り組んできたもち米は、12月に予定されているもちつき集会で味わいます。





農産物直売所「作倶楽」で収穫感謝祭

（10月18日）

下金山の農産物直売所「作倶楽（さくら）」で収穫感謝祭が開かれ、今シーズンの営業を締めくくりました。午前9時の開店を前に、8時半にはすでに長い列ができ、会場は多くの買い物客でにぎわいました。

当日は、先着100人への野菜の無料プレゼントをはじめ、もち米やじゃがいも、玉ねぎなどの農産物、おはぎや赤飯、おこわを販売。トマトやさつま芋の詰め放題も行われ、訪れた人たちは秋の実りを楽しみながら買い物をしていました。





高校生のイラストが防犯啓発グッズに
（10月29日）



富良野署の佐藤裕一副署長が南富良野高校を訪れ、特殊詐欺や「闇バイト」の防止を呼びかけるクリアファイルを、イラストを制作した生徒２人に手渡しました。制作したのは、ボランティア同好会の２年生の猪口（いのぐち） 真菜（まな）さんと１年生の羽田野（はたの） 琴祢（ことね）さんです。

２人は、防犯への関心を高めてもらおうと、自分たちでデザインを考え、「甘い言葉につられるな！」「その電話、本物の息子さんですか？」などの言葉を添えて作品を仕上げました。

生徒からは「自分の絵がクリアファイルになるのは貴重な経験」「将来の夢である警察官の活動に関われてうれしい」といった感想が聞かれました。クリアファイルは約600枚作られ、今後、防犯関係団体などの啓発活動に活用されます。

新太平橋名板文字採用児童へ記念贈呈
名板取付会
（11月５日）



幾寅地区の国道38号に架かる新しい太平橋で、橋名板の取付会が行われました。会では、文字の制作に協力した南富良野小学校の児童４人に記念品が贈られ、完成した橋名板がお披露目されました。

漢字の「太平橋」は安部（あべ） 百虹（もこ）さん、ひらがなの「たいへいはし」は谷口（たにぐち） 新（あらた）さん、完成年月の「令和８年11月完成」は大浦（おおうら） 瑠璃（るり）さん、漢字の「空知川」は小林（こばやし） 奈那子（ななこ）さんが担当し、それぞれの文字が４枚の橋名板に刻まれました。

取付けの際には、児童たちが実際にボルトを締め、橋名板の設置に参加しました。自分たちの書いた文字が、これからも橋に残ります。

故高倉健さんを偲ぶ会
（11月10日）



11月10日、俳優・高倉健さんの命日に、映画「鉄道員（ぽっぽや）」の舞台となった幾寅駅（作中の幌舞駅）で、南富良野まちづくり観光協会による「高倉健さんを偲ぶ会」が開かれました。

駅舎内には献花台が設けられ、高倉さんが好きだったコーヒーやイモ団子が供えられました。また、映画撮影時に炊き出しなどで協力した幾寅婦人会の皆さんが、いももちとコーヒーを無料で提供しました。

会場では、記念品がくばられ、訪れた人たちは映画の思い出とともに、高倉さんを偲びました。

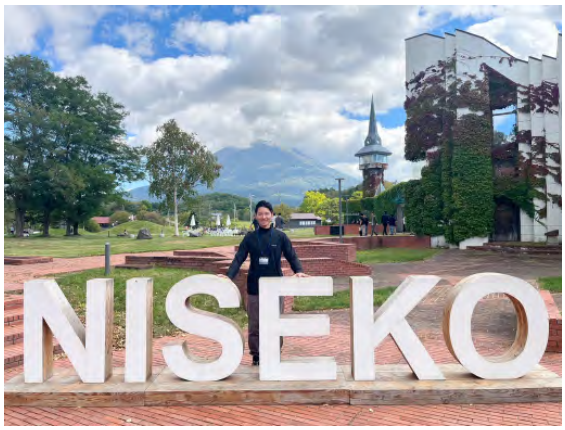
地域おこし協力隊活動記 35

本町では、11 名の「地域おこし協力隊」が町の振興や発展のため活動しています。その活動内容や様子を町民の皆さんに紹介します。

雪野（ゆきの） 智靖（ともやす） 隊員（観光振興支援員）

町民の皆さま、ご無沙汰しております。

観光協会（道の駅）に勤務中、協力隊２年目の雪野です。



11 月で南富良野に移住してから１年半。３年間の任期も、いよいよ折り返し地点を迎えます！身の程知らずの若造ですが、日々町民の皆さまに温かく対応していただいており、楽しく暮らせています。

最近は、町から出て南富良野を PR する機会が多くありました。北広島市で開催された「ANA オープンゴルフトーナメント」や、札幌市で開催された「ほっかいどう秋の大収穫祭」では、南富良野町のブースに立ち、町の魅力を伝えながら特産品の販売に取り組みました。普段は SNS を通じた情報発信に努めておりますが、直接お客さまとお話しし、南富良野を知っていただくことの大切さも改めて感じました。

また、富良野・美瑛エリアを代表して、ニセコ・倶知安地域で開催された観光地域づくりの研修・視察にも参加しました。海外資本によるリゾート開発が進む地域では、開発を推進する立場と地域の環境や暮らしを守ろうとする立場の間で、さまざまな議論が交わされています。現地で起きている課題や、それに対する行政の対応、今後の取り組みについて学ぶ貴重な機会となりました。

観光によって地域が発展する一方で、地域の暮らしや自然をどう守っていくのか。この問いは、これからの富良野・美瑛エリアにとっても大切なテーマだと感じています。今回の学びを南富良野のこれからに生かせるよう、引き続き地域の内外からさまざまなことを吸収していきたいと思います。

すこし真面目に話すぎましたね。スキーを愛する私にとって最高の季節である冬が近づいています。朝晩の冷え込みが強くなっており、ワクワク。今年は 30 日間連続スキーチャレンジをやってみようかと。そして３年目以降の町内での起業に向けてやらねばいけないこともたくさんあります。

暮らしも仕事も両方充実できるよう頑張ります！

本町の地域おこし協力隊として「高田（たかた）　祐一（ゆういち）」さんが着任されました！

本町の、建築に関する専門業務活性化などを図る「建築士業務支援員」として、11 月１日付けで地域おこし協力隊が着任されましたので、ご紹介します。隊員は普段、役場建設課に勤務しています。



「建築士業務支援員」

〇出身地：兵庫県神戸市

〇趣　味：ジョギング、テニス、バイク

〇町民の皆さんへ

関西の神戸より移ってまいりました。南富良野町の豊かな自然を活かしたまちづくりに、建築を通して貢献できればと思っています。

よろしくお願いします。

教育委員会通信

学校教育係・生涯学習係
☎52-2145

あなたは大丈夫？スマホ依存

間もなく年末を迎え、お正月休みや冬休みなどいつもより休日が増える人が多いと思います。家にいると、何気なくついつい見てしまうスマホ。ネット社会は私たちの生活を豊かにし、情報の取得が容易となった一方、スマホ依存という深刻な弊害が潜んでいます。

内閣府の調査によると、18～29歳の年代ではスマートフォンやタブレットの普及率がほぼ100%に達しています。現代社会において、スマートフォンは生活に不可欠なツールとなっていますが、特に発達途上にある10歳頃～20歳代前半頃における過度な使用は、深刻な健康上の問題を引き起こす可能性があります。



スマホ依存とは、スマートフォンの使用をコントロールできなくなり、日常生活に支障を来している状態を指します。日本の調査では、高校生の約10%、大学生の約25%に依存の疑いがあるとされています。

主な症状には、使用時間の増加、使用制限時の強い不安やイライラ、学業や仕事への支障などがあります。特に思春期・青年期は、脳の発達が著しいとても重要な時期であり、その影響は成人よりも顕著になると考えられます。

スマホ依存によりもたらされる影響

認知機能	身体・生活面	心理・社会面
注意力・集中力の低下	睡眠障害 （入眠時間の遅れ、睡眠時間の短縮、 睡眠効率の低下、睡眠覚醒リズムの乱れなど）	対人関係の希薄化
記憶力の低下	視力低下	不安やうつ症状の増加
思考力や判断力の低下	姿勢の悪化	自己肯定感の低下
衝動性のコントロールの困難	運動不足	現実世界からの孤立

【スマホ依存にならない・進行させないために】

スマホ依存の対策は、使用時間の制限やスマホなどのデジタル機器を極力使わないなどの自己管理、家族や友人との対話時間を増やすなどの環境調整が基本となります。スマホ依存が進行している場合には、認知行動療法やカウンセリングなどの専門的な治療が必要になります。

便利で手放せないスマホですが、このお正月は家族や友人との会話を増やし、スマホなどのデジタル機器と少し距離を置いて過ごしてみてはいかがでしょうか？

南富良野町「二十歳を祝う会」

日　　時：令和９年１月１０日（日曜日）
二十歳を祝う会：１１時００分から
場　　所：保健福祉センター みなくる
対　　象：平成１８年４月２日から平成１９年４月１日までに生まれた方で、住民登録されている方です。
内　　容：祝う会（式辞、祝辞、誓いのことば等）

英会話教室受講生募集中
日常英会話編Ⅳ
○開 催 日　令和９年２月８日、１５日、２２日
○内　　容　緊急電話、アメリカの映画、旅行など
○申込締切　令和９年１月２９日（金曜日）まで

お詫びと訂正
英会話教室の日程について
広報11月号に掲載いたしました日程に誤りがございました。深くお詫び申し上げますとともに、下記のとおり訂正いたします。
正：開催日 令和８年１２月１日、７日、１４日

南富高新聞

第115号
発　行
南富良野高等学校

【見学旅行報告】関西の歴史と文化を体感！思い出深い４日間






10月21日～24日の４日間、２年生が京都・大阪・奈良へ見学旅行に行ってきました。北海道との気温差に驚きつつも、笑顔と喜びに満ちた実り多き旅となりました。

■１日目：金閣寺と京都夜散策

初日は金閣寺を訪問。輝く金箔と美しい庭園を堪能した後は夕食を兼ねたプチ自主研修へ。夜の京都駅周辺を散策し、北海道とはまた違う情趣あふれる街並みや雰囲気を感じ取りました。

■２日目：古都の魅力を満喫！京都自主研修

班ごとに分かれ、着物・浴衣での散策や陶芸体験、嵐山散策など古都の伝統文化に親しみました。清水寺では「清水の舞台」の想像以上の高さと迫力に感嘆の声を上げる生徒の姿が見られました。

■３日目：笑顔があふれた大阪自主研修

ＵＳＪでの記念撮影後、各班で研修を開始。アトラクションを思いきり楽しんだり、大阪市内の名所を巡って独自の食文化に触れたりと、仲間と情報を共有しながら見聞を広げる１日となりました。

■４日目：東大寺と鹿との交流

最終日は奈良の東大寺へ。ガイドさんの丁寧な解説から「阿吽の呼吸」の由来や大仏の歴史を深く学びました。鹿せんべいを手に、鹿たちにおねだりされながら触れ合う微笑ましい時間となりました。仲間と協力し、教室では得られない貴重な学びと最高の思い出を得た４日間でした。温かく見守ってくださった町民の皆様に心より感謝申し上げます。

今後とも本校生徒へのご支援をよろしくお願いいたします。

シリーズ 学校だより 236

各学校の取り組みを紹介します。

▶▶▶南富良野高等学校◀◀◀







【南富良野高校 部活動・同好会だより】地域応援への感謝と生徒たちの活躍報告

町民の皆様、日頃より本校の教育活動に温かいご支援をいただき心より感謝申し上げます。秋の活躍と成果をご報告いたします。

■カヌー部：国スポで男女ダブル８位入賞！

10月15日～18日の「第80回国民スポーツ大会」に生徒10名と廣島教諭が出場。男子ペア５００ｍで14年ぶり、女子ペア５００ｍで史上初となる２年連続の８位入賞を果たしました。

■カーリング部：大会での１勝と強化遠征での学び

９月26日・27日の「第４回北見オニオンカップ」では１年生チームが最終戦で見事勝利。10月16日～８日の稚内強化遠征では、栄養講義やＯＢ・ＯＧらからの技術指導を通じ、多くの糧を得ました。

■吹奏楽部：地域イベント演奏と定期演奏会のお知らせ

９月26日の「道の駅感謝祭」で３曲を披露し、温かい拍手をいただきました。12月12日（土）には「定期演奏会」を開催予定です。ぜひお越しください。

■日々に励む部活動・同好会

バドミントン部、卓球部、資格取得部、ボランティア同好会も、それぞれが新たな目標に向けて日々の練習や活動に懸命に取り組んでいます。

今後とも本校生徒たちの挑戦へ、温かいご支援・ご声援をよろしくお願いいたします。

子育て支援センター「ぷっこ」だより

☎ 52-2315

～☆★明るく元気な子に育ちますように☆★～　　子育て支援センター　☎ 090-5985-4339

クッキングで使った南富良野産のかぼちゃがとても甘くておいしかったです。野菜そのものの味を感じ、感激しました。おいしい野菜をたくさん食べて、寒い冬を元気に過ごしましょう。



☆ぷっこクラブ（秋のお散歩）

親子でお散歩。風に吹かれた秋のにおいを感じ、黄色や赤の葉っぱも拾いました。



☆ぷっこクラブ（ハロウィンクッキング）

地元産のかぼちゃを使ってハロウィンお化け風のおだんごが出来上がりました。



☆育児講演会（救命救急講習会）

消防署員の方に誤飲やけがの対処法を教えていただきました。子育てが安心してできる町ですよね。



☆育児講演会（子育てコーチング）

コーチングの先生をお招きして、育児に頑張るお母さんたちに、素敵なアドバイスをいただきました。

保育所の元気な子どもたち

幾寅保育所

今年度は、幾寅保育所・金山保育所合同でお遊戯会を開催しました。総勢44人の子どもたちが、遊戯や歌、和太鼓や器楽、劇などを披露しました。9月から練習を頑張ってきた子どもたち、緊張しながらも笑顔で元気に表現するかわいい姿が見られました。たくさんの方々に見に来ていただき、ありがとうございました。



金山保育所

10月の終わりに初雪が降り、保育所の園庭も真っ白になり大喜び！！園庭をかけまわり、雪の感触を身体いっぱい味わい、「つめたい！」と言いながら雪だるまを作り楽しむ姿がありました。雪が積もったら早くスキーがしたい！と、本格的な冬の到来を心待ちにしているようです。



□発行／南富良野町役場　編集／企画課 広報統計係　Tel.52-2115
□ホームページアドレス http://www.town.minamifurano.hokkaido.jp

★町内会に加入しましょう★

町内会は、住民みんなで協力して地域をより快適で住みやすくするための活動をしています。お祭りやゴミステーションの清掃、防災活動、そして子どもたちや高齢者のサポートまで、暮らしのあらゆる場面で関わっています。

町内会に参加することで 温かい人間関係が築けたり、地域の課題をみんなで解決できます。

地域の絆をさらに深め、より良いまちづくりにつながります！ぜひ町内会に加わってみませんか？



問い合わせ先：企画課広報統計係　☎ 52 － 2115

町ホームページで求人情報を掲載しています

町民の皆さまや移住希望者へ向け、町ホームページで求人情報を掲載しています。

フルタイム／パートタイムの種別ごとにまとめていますので、お仕事を探されている方はぜひご覧ください。

◎掲載場所　右記の二次元コードを読み込みご覧ください。
町ホームページ＞移住・定住情報＞３．お仕事
ホーム右下（スマートフォンの場合は下部）のバナー欄にも掲載しています。

寄附・寄贈

次の方々から寄附・寄贈がありました。皆さんのご厚志に対し紙上をもって厚くお礼申し上げます。

社会福祉協議会へ

○落　合　株式会社小出百貨店代表取締役小出直由様より社会福祉協議会の運営に活用する寄附として　十万円

○幾　寅　小野秀様より故山田東樹様生前のご厚志に対するお礼として　十万円

一味園・からまつ園・こざくら園へ

○神奈川県　高　松　保　様
○神奈川県　高　松　忠　弘　様
○北広島市　山　下　宏　基　様
○幾　寅　小　野　秀　様
○富良野市　鈴　木　ひろ子　様
○幾　寅　高　橋　一　久　様
○富良野市　（株）丸善三番館ふらの店　様
○津　別　町　樋　口　英　男　様
○中　川　町　中川町民生委員協議会　様
○旭　川　市　鳴　海　美　幸　様
○釧　路　市　三　橋　重　子　様

★お悔やみ申し上げます

幾　寅　山　田　東　樹（89）
令和8年10月8日逝去

幾　寅　村　上　武（78）
令和8年10月15日逝去

わたしたちのまち

（令和8年10月末日現在）

人口	2,129人	（0）
男	1,070人	（0）
女	1,059人	（0）
世帯数	1,274戸	（1）

（　）内は前月比

古紙配合率60パーセントの再生紙を使用しています。